

社会資本総合整備計画

みやづしもんじゅ ふちゅうちく としさいせいせいびけいかく
宮津市文珠・府中地区 都市再生整備計画

事後評価シート

きょうとふ みやづし
京都府 宮津市

令和元年6月

事後評価の評価体制

担当部局により評価を実施

公表の方法

宮津市オフィシャルホームページにて公表

計画の名称	宮津市文珠・府中地区都市再生整備計画		
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	京都府宮津市
計画の目標			

○大目標 海の京都 魅力ある観光まちづくり
 天橋立地区において、交流拠点としての天橋立駅周辺再整備と賑わいの創出、品格と情緒を感じる街並みの整備、多面的な観光動態の整備を行い、魅力ある滞在型観光地への転換を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	① 宮津市における年間観光客数を260万人/年（H24年）から300万人/年（H30年）に増加 ② 減少傾向にある鉄道利用者数について、天橋立駅利用者数（乗降者数）15万人/年（H24年）の現状維持を目指す ③ 観光案内所及び外湯施設の年間利用者数を5.9万人/年（H24年）から6.5万人/年（H30年）に増加		
----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (計画策定時)	中間目標値 (-)	最終目標値 (H29末)	
① 年間観光客数の調査（人/年）	2,600,000	-	3,000,000	
② 天橋立駅利用者数（乗降者数）の調査（人/年）	150,000	-	150,000	
③ 観光案内所・外湯施設利用者数の調査（人/年）	59,000	-	65,000	

全体事業費	合計 (A+B+C)	220 百万円	A	220 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
施行全体事業費	合計 (A+B+C)	183 百万円	A	183 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
1-A-1-1	都市再生	一般	宮津市	直接	宮津市	宮津市文珠・府中地区都市再生整備計画	天橋立駅の駅前広場整備、駅舎改修、案内・情報板の設置	宮津市						220	
														183	
合計													220		
合計													183		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0		

その他関連する事業											
計画等の名称	事業種別	交付対象	要素となる事業名	市町村名	全体事業費 (百万円)	備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

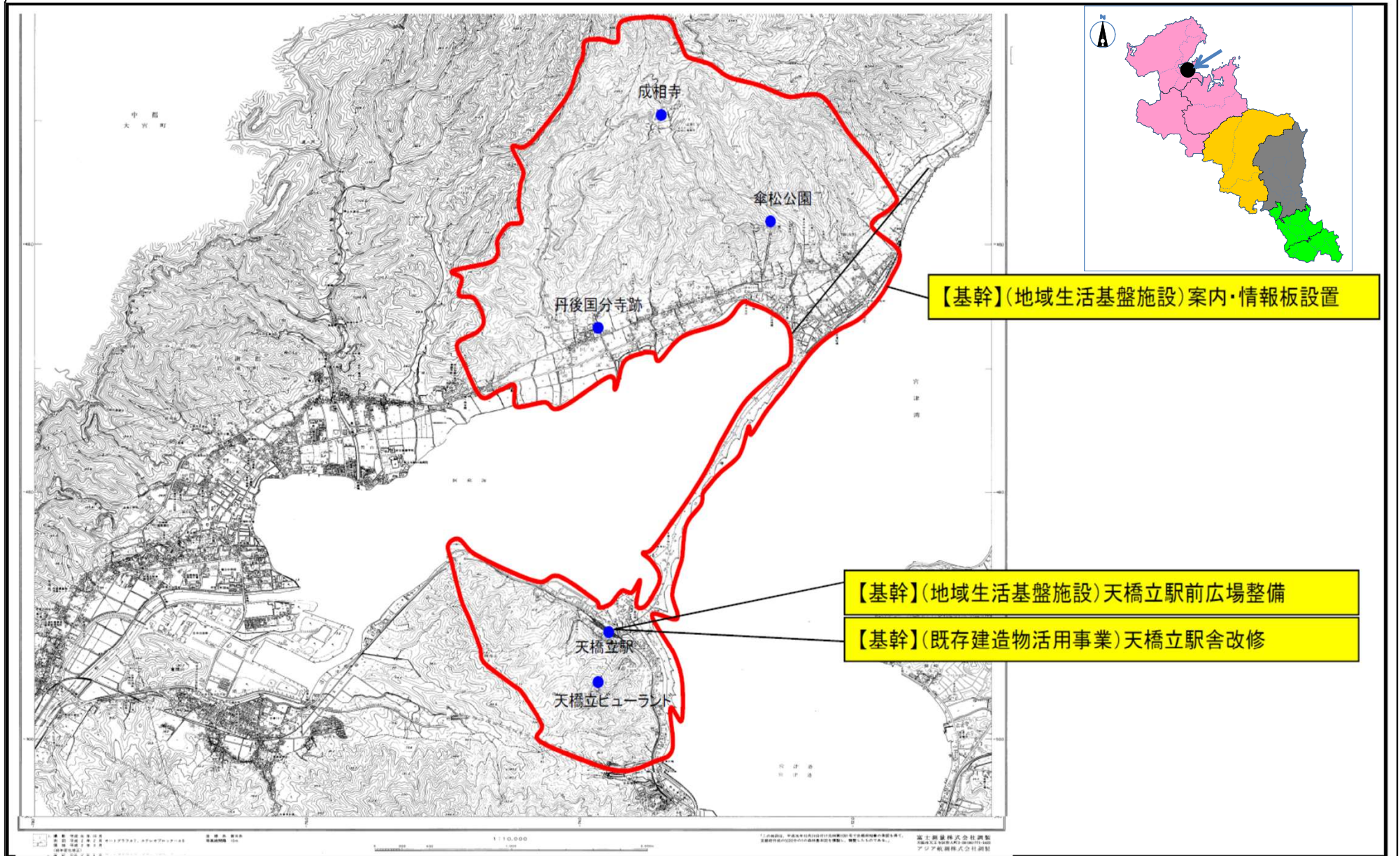
I 事業計画全体の目標達成状況		住民による景観形成の取組（界限景観まちづくり協定）の締結（H26年に天橋立駅周辺の文珠地区、H27年に府中地区内の大垣界限、H28年には同じく府中地区内の溝尻界限が協定を締結）が進み、観光地としてふさわしい景観形成が行われた。 また、市と地域が連携する協議会や地元観光団体によるライトアップ事業等の実施などの賑わい創出が行われるとともに、空き店舗を活用した新たな飲食店が出店するなどの賑わい創出も図られた。 さらには、天橋立観光協会が運営する「天橋立アクティビティセンター」による体験型観光プログラムの開発、販売など、滞在型観光地への転換を目指す取組を進めているところである。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 観光入込客数 (人/年)	最終目標値	3,000,000	目標値と実績値に差が出た要因	平成29年の観光入込客については最終目標値である300万人を達成したものの、平成30年は7月豪雨を始めとした天候不良により減少し、結果、最終実績値は目標値を下回るものとなった。 訪日外国人観光客の増加により、目標を上回る実績となった。 訪日外国人観光客の増加により、大幅に目標数値を上回る実績となった。
		最終実績値	2,970,000		
	指標② 天橋立駅利用者数 (乗降者数) (人/年)	最終目標値	150,000	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	160,000		
	指標③ 観光案内所・外湯施設利用者数 (人/年)	最終目標値	65,000	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	119,000		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況（必要に応じて記述）		地域の事業者や住民主導のまちづくり（夜の賑わいづくり、景観まちづくりなど）が進むなどの気運醸成が図られた。			

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・天橋立駅を中心とした天橋立周辺の賑わいづくり（体験プログラムの増加や滞在時間増加に向けた夜の賑わいづくりなど）の継続・拡充
- ・増加する訪日外国人客の受入体制の強化

(参考図面)

計画の名称	宮津市文珠・府中地区 都市再生整備計画		
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度 (5年間)	交付対象	京都府宮津市



【基幹】(地域生活基盤施設)案内・情報板設置

【基幹】(地域生活基盤施設)天橋立駅前広場整備

【基幹】(既存建造物活用事業)天橋立駅舎改修